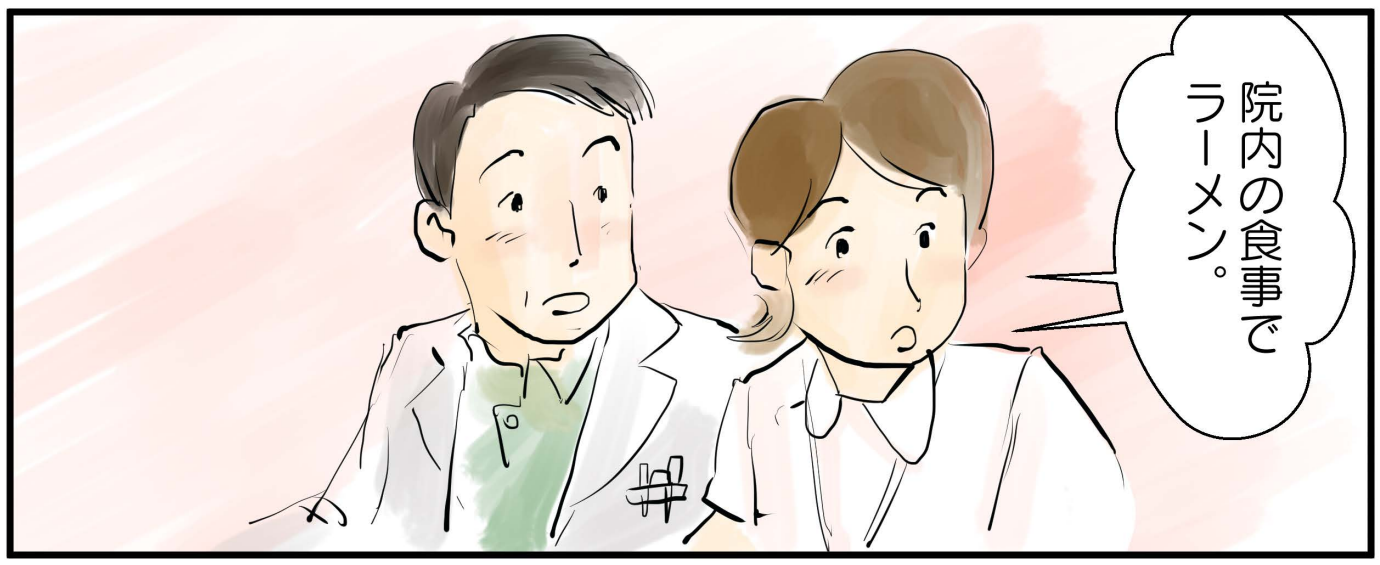
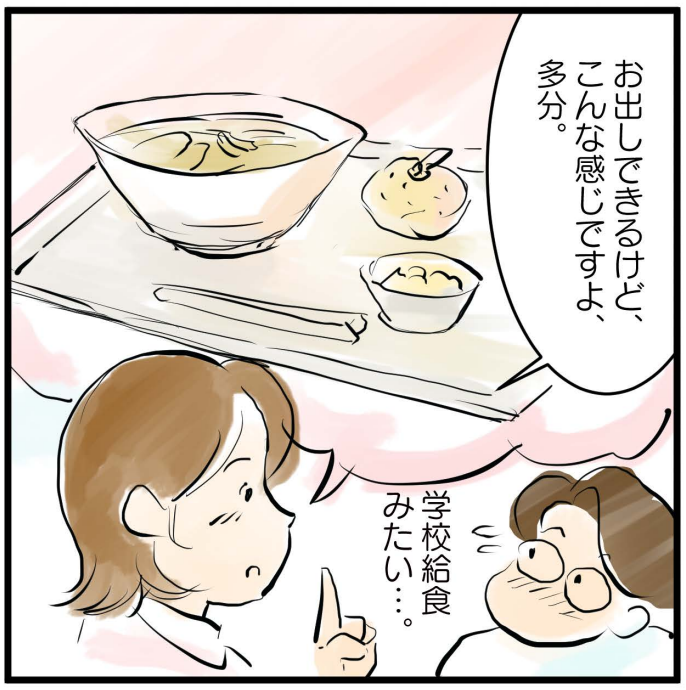
人生で初めてのラーメン

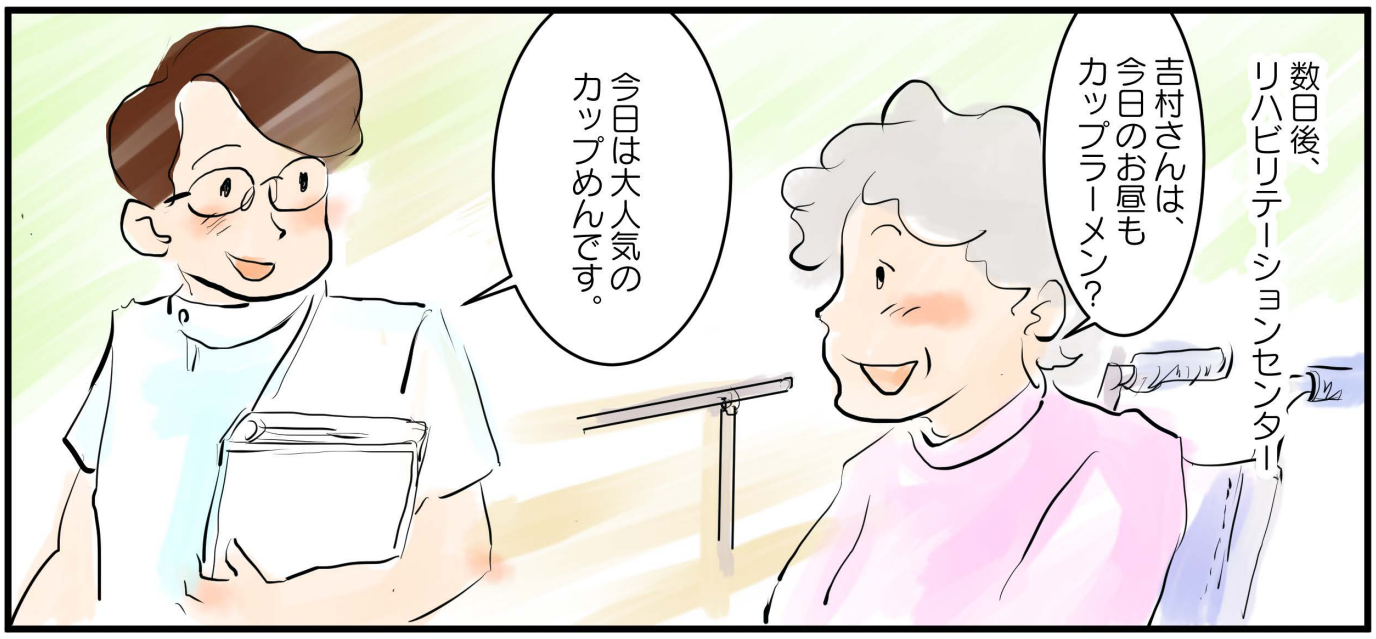
リハビリテーション科 スタッフ

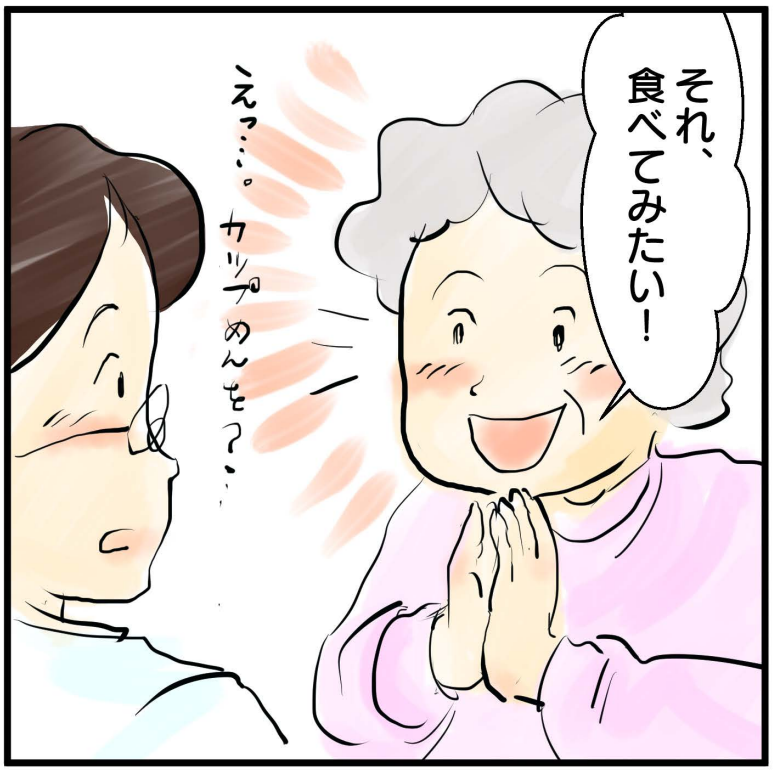
けっこういけますよ。いろんな種類があって、
豚骨、
しょうゆ、
シーフード…。
へえ、食べてみたいわ…。


院内の食事でラーメン。

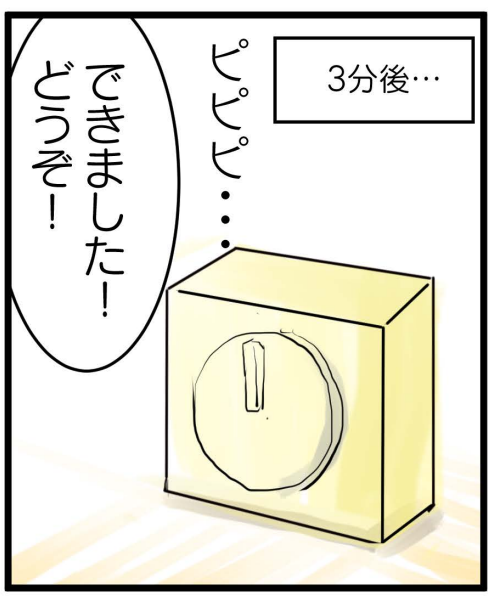

お出しできるけど、こんな感じですよ、多分。
学校給食みたい…。

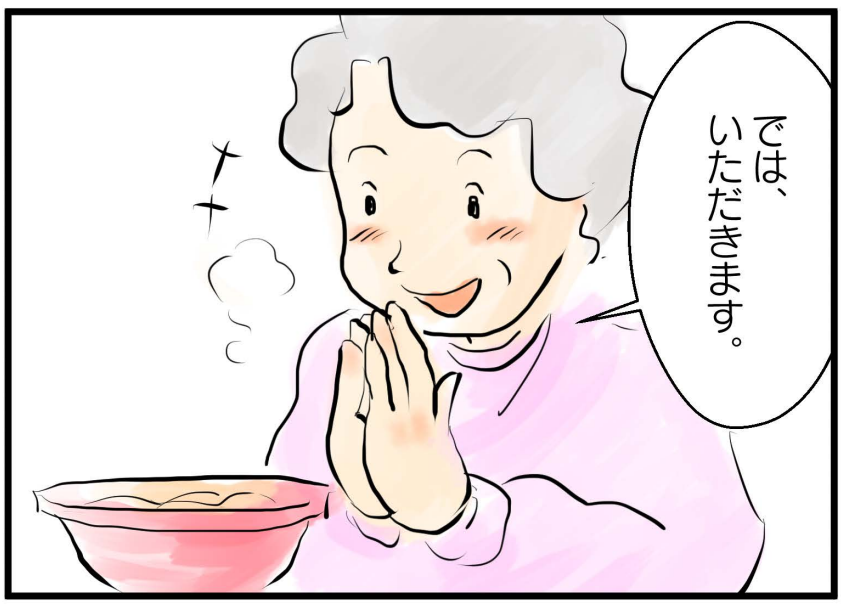
ううん
本物のラーメンを味わっていただくにはどうしたらいいかな。


数日後、
リハビリテーションセンター
吉村さんは、
今日のお昼も
カップラーメン？
今日は大人気の
カップめんです。


それ、
食べてみたい！
えっ…。カップめんを？

じゃ…じゃあ、
食べてみますか？


3分後…
ピピピ…
できました！
どうぞ！


では、
いただきます。

ふぅ…

味はいかがですか？

いまいちね。
蕎麦のほうが
おいしいね。

ガクッ…

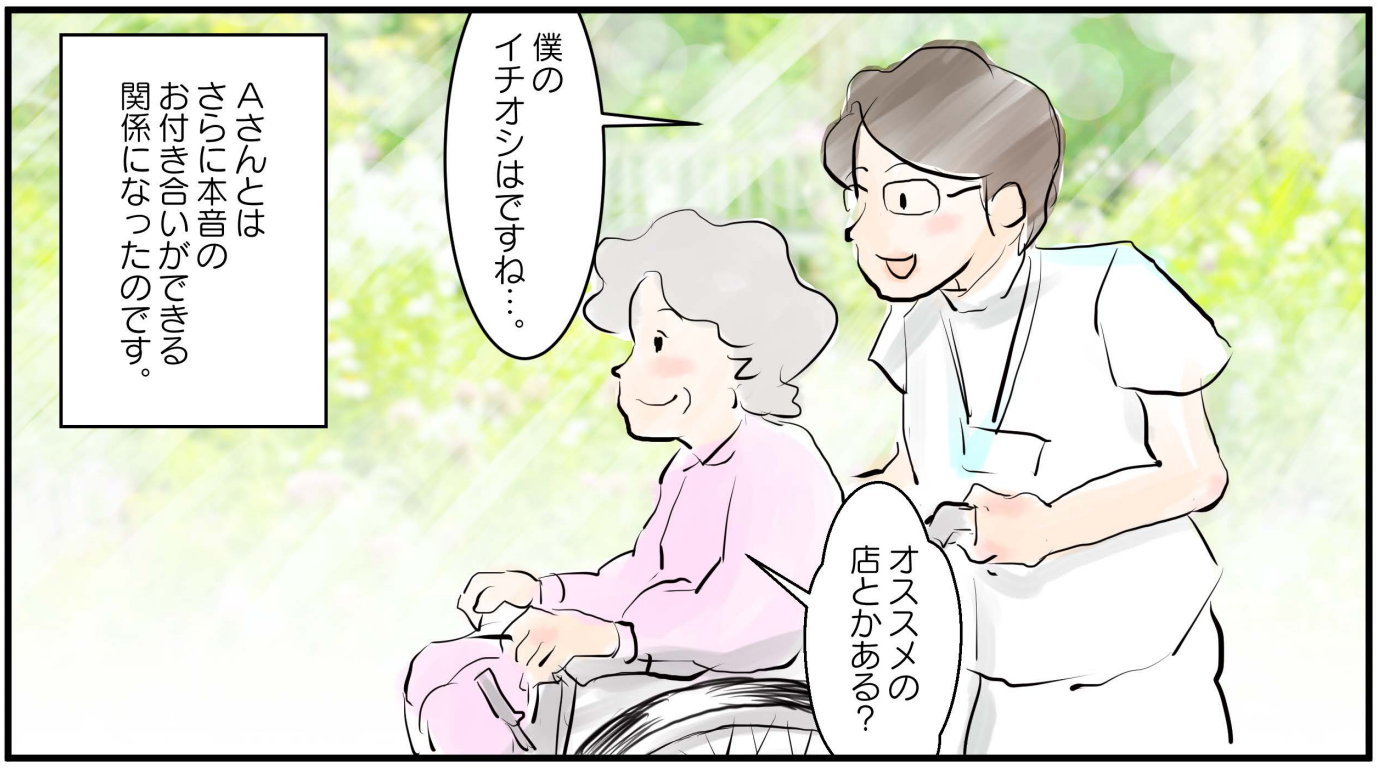
くやしいなぁ、
本物のラーメンは
こんなものじゃ
ないですよ。

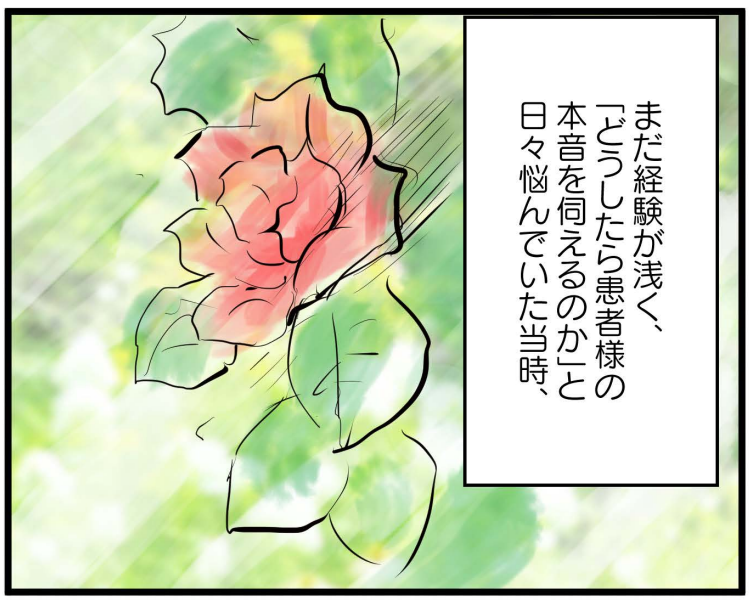
口ではそう言いながら、
心では『おいしいよ』と
お世辞ではなく、
本音で話していただけたこと、
そんな関係が築けていたことに
感動していました。

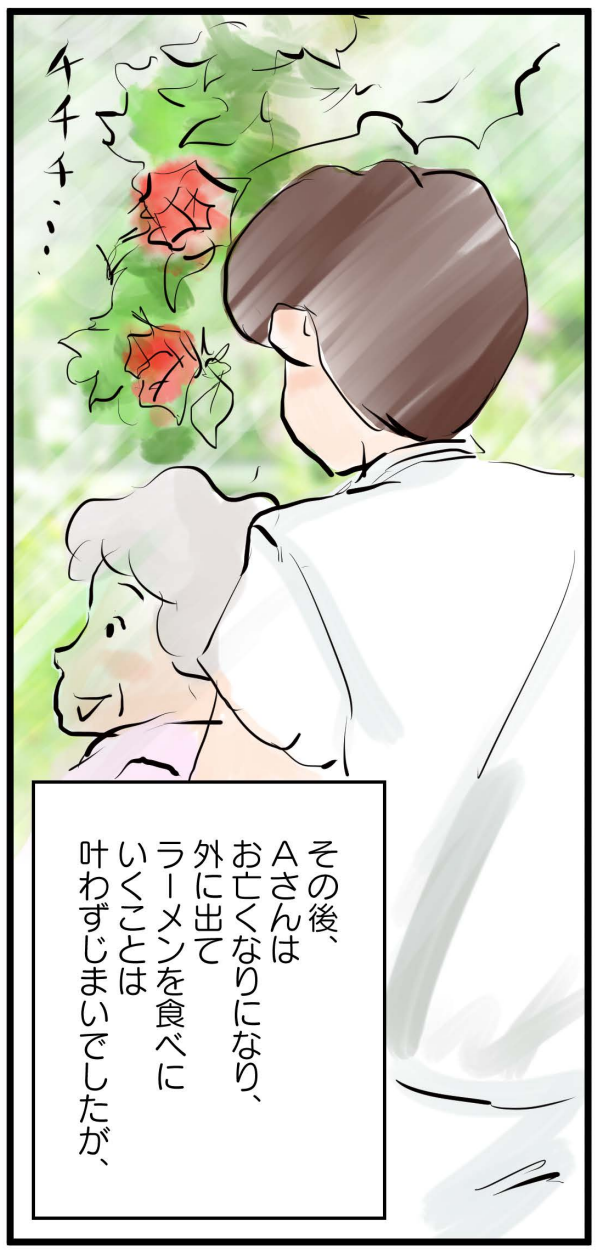
吉村さんが
そんなに言うなら、
外にラーメン
食べに行きたいね。

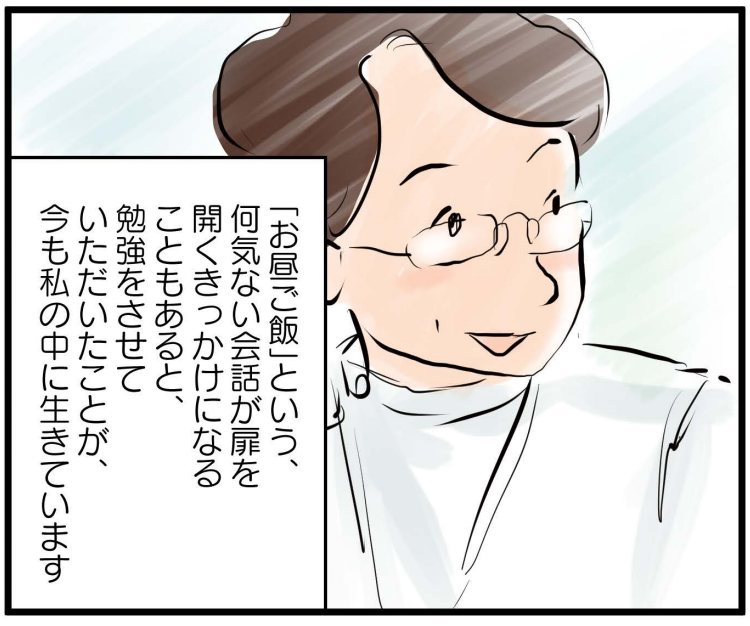
行きましょうよ、
今度。

それから、
Aさんはますます
リハビリに前向きに
取り組まれる様に
なりました


僕の
イチオシはですね…。
オススメの
店とかある？
Aさんとは
さらに本音の
お付き合いができる
関係になったのです。


まだ経験が浅く、
「どうしたら患者様の
本音を伺えるのか」と
日々悩んでいた当時、


その後、
Aさんは
お亡くなりになり、
外に出て
ラーメンを食べに
いくことは
叶わずじまいでしたが、


「お昼ご飯」という、
何気ない会話が扉を
開くきっかけになる
こともあると、
勉強をさせて
いただいたことが、
今も私の中に生きています

おわり